

施 策						
主要事業					市の 評価	2023年度取組内容
No.	個別事業	事業内容	2023年度の取組予定			
(1)食と暮らしを支える多様な農業						
1 直売所のさらなる活用						
①	直売所の利用の促進	市ＨＰの活用等情報発信強化	①直売所用のぼり旗配布 ②いこいの森公園、JA直売所、での直売支援実施 引き続き①、②を実施する。		A	①直売所用のぼり旗配布 ②マグネット(めぐみちゃんモチーフ)制作し、直売所の周知 ③いこいの森公園での直売支援、JA新規開設ふれあい新鮮館の広報実施
②	公共施設等での販売機会の提供	公共施設での販売機会を提供し、市民の利便性や地産地消につなげる	①公共施設(スポーツセンター、きらっと)でのマルシェの開催広報を担当 ②田無駅北口でのマルシェの実施 ③下保谷屋敷林でのマルシェの実施		A	①公共施設(スポーツセンター、きらっと)でのマルシェの開催広報を担当 ②いこいの森公園でのマルシェの実施 ③下保谷屋敷林でのマルシェの実施 ④いこいの森ファーマーズマーケット実施の際のファームカーでの支援
2 地産地消の推進						
③	めぐみちゃんメニューの推進	めぐみちゃんメニュー事業の推進	①農業者と事業者とのマッチングを推進していくことを主眼に置き、そのために必要だと考えられるイベント等を実施していく ②農業者及び飲食店が自ら販売する形式でのマルシェ実施を計画的かつ継続的に実施するよう調整を図る		A	①市内産農産物を活用したメニューを小中学生より募集し、秋冬野菜を使用したメニューを10月から12月で市内17店舗で販売した(市内産農産物活用メニュー事業) ②X(旧ツイッター)を利用した情報発信 ③農業者及び飲食店が自ら販売する形式でのマルシェ実施
④	学校給食との連携	栄養士と農業者の意見交換などの支援	市栄養士と連携し、めぐみちゃんメニュー事業で実施した市内産農産物活用メニュー事業の応募メニューの中から、学校給食で提供を継続		A	市栄養士と連携し、めぐみちゃんメニュー事業で実施した市内産農産物活用メニュー事業の応募メニューの中から、学校給食でも提供
3 販路の拡大と西東京ブランドの育成						
⑤	めぐみちゃんブランドの普及啓発	めぐみちゃんを活用し、農産物の普及啓発を行う	①めぐみちゃんメニュー事業を通じた広報 ②市内産農産物等活用推進事業費補助金の実施 ③めぐみちゃんのぼり旗を配布 ④マルシェでのめぐみちゃんの活用を継続実施		A	①めぐみちゃんメニュー事業を通じた広報 ②市内産農産物等活用推進事業費補助金の実施 ③めぐみちゃんのぼり旗を配布 ④マルシェでのめぐみちゃんの活用
⑥	地域や商店街との連携	地域や商店街と連携した販路拡大等	①いこいの森公園の指定管理者との連携(ファーマーズマーケットの実施) ②スポーツセンター、きらっとの指定管理者との連携(スポセンマルシェ、きらっとマルシェの実施) ①②を内容の変更を視野に入れながら実施・連携していく。 また、めぐみちゃんメニュー事業に参加する飲食店を増やし、地域や商店街と連携したマルシェを開催するなど、販路拡大を推進する。		A	①いこいの森公園の指定管理者との連携(ファーマーズマーケットの実施) ②スポーツセンター、きらっとの指定管理者との連携(スポセンマルシェ、きらっとマルシェの実施) ③めぐみちゃんメニュー参加飲食店を増やした。
(2)多様な担い手が生きがいややりがいを感じる農業経営						
1 若い担い手や女性農業者の育成						
⑦	地元と連携した後継者育成	J A や東京都等と連携した後継者育成	①認定農業者の経営改善計画において、家族、後継者を含めた農業経営計画策定を推進。 ②「農業後継者顕彰」事業(農業委員会) ③東京都フレッシュ&Uターンセミナーを活用を継続実施		A	①認定農業者の経営改善計画において、家族、後継者を含めた農業経営計画策定を推進。 ②「農業後継者顕彰」事業(農業委員会)の受賞者を農業委員会だよりで広報 ③東京都フレッシュ&Uターンセミナーの活用
⑧	農業者の交流機会の創出	若い担い手や女性農業者への情報提供の強化、支援策の検討	引き続き若い担い手や女性農業者への支援を行う。		B	青壮年部、女性部へのヒアリング実施を実施したが、交流や情報提供には至らなかった。
2 援農ボランティアの活用						
⑨	農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供	援農ボランティアと農業者のマッチングを行う	①体験実習農園にて援農ボランティア活動の実施。 ②市報掲載(援農ボランティアを広報周知) ③農業者へ援農ボランティアの活用の周知チラシを配付する。 を継続実施するとともに、農業者への制度周知も図り、援農ボランティアとのマッチング機会の創出を推進する。		A	①体験実習農園にて援農ボランティア活動の実施。 ②市報掲載(援農ボランティアを広報周知) ③農業者へ援農ボランティアの活用の周知チラシを配付する。 ④農のアカデミーでの援農作業の展開
⑩	援農ボランティアのスキルアップ	「青空塾」修了者(援農ボランティア)のスキルアップを図る	①農のアカデミー事業の実施 ②援農ボランティアを対象に講演会や運営連絡会を実施した ③市内農業者の圃場にてスキルアップのための実習を実施を継続実施		A	①農のアカデミー事業での指導農家によるアドバイスデーの実施 ②市内農業者の圃場にてスキルアップのための実習を実施 ③援農ボランティア対象の講演会、連絡会を実施
3 効果的な支援による農業経営意欲の促進						
⑪	認定農業者農業経営改善計画への支援	経営改善計画のフォローアップ検討	認定事務が円滑に進むよう、事前配布や相談会を通して申請者の計画作成の支援を行う。認定農業者(更新)へ改善計画書の事前配布		A	認定事務が円滑に進むよう、事前配布や相談会を通して申請者の計画作成の支援を行った。
⑫	新たな支援策の調査・研究	農業者への効果的な支援策検討	補助金について周知を行うとともに、農業者の要望を聞き取る		A	①(補助金)都市農業経営力強化事業補助金、未来に残す東京の農地プロジェクト補助金事業の手続きを実施するとともに、要望を聞き取る。 ②(補助金)JAや農業者との意見交換、要望の反映に向けた調整を行った。 ③市内農業者物価高騰等対応補助金での支援。
⑬	営農支援事業の適正運営	J A の営農支援事業	引き続き、JAが実施する「営農支援事業」の周知を行い、農地保全を推進する。		A	「営農支援事業」の周知を実施。

施 策						
	主要事業				市の 評価	
	No.	個別事業	事業内容	2023年度取組予定		2023年度取組内容
(3)農地の保全と活用						
	1 生産緑地の保全					
	⑭	農地の適正な肥培管理	農業委員会による農地の管理指導	引き続き適正な肥培管理が行われるよう農地パトロール等の活動を実施していく。	A	①農地パトロール(農業委員会+都市計画課+資産税課)、文書による指導実施。 ②苦情対応に農業委員と連携。 ③農業委員会農地部会による農地パトロールを実施。
	⑮	生産緑地地区制度への対応	特定生産緑地や生産緑地の再指定等の推進	引き続き、追加指定等あった際には、農業委員会、JA、都市計画課と連携して対応していく。	A	生産緑地地区の追加指定について農業委員会と連携し対応した。
	⑯	農地の貸借における仲介の仕組みづくりの支援	貸借円滑化法に基づく貸借への対応を検討	都市農地有効活用連絡会の活動・運営を通して貸借の促進を図っていく。	A	都市農地有効活用連絡会の活動・運営を通して令和4年度から引き続き、貸借の促進を図った。
	2 多面的機能の発揮					
	⑰	農業体験・交流型施設の活用	花摘みの丘、蔵の里などの施設を活用した取り組みの推進	蔵の里実施、親子で野菜作りにチャレンジ実施農業体験イベントや施設での市民の農業体験事業の開催を検討する。	A	蔵の里の実施、親子で収穫祭を実施
	⑱	災害協力農地の拡大	災害協力農地の拡大を図る	未来に残す東京の農地プロジェクト補助金の事業実施者へ災害時協力農地としての協定締結を勧める。令和5年度の当該補助事業実施者にも協定締結を勧める。	A	未来に残す東京の農地プロジェクト補助金の事業実施者へ災害時協力農地の締結について周知に努めた。
(4)農業を通じた交流						
	1 各種イベントの実施					
	⑲	農業景観散策会の実施	農業、農地のある景観を活かした事業の展開	景観散策会について検討する。	C	景観散策会について検討したが、実施には至らなかった。
	⑳	市内産農産物活用事業の実施	市内産農産物を活用したイベント実施	市内農産物を使用した事業を検討	C	市内産農産物活用事業の実施について検討したが実施には至らなかった。
	㉑	親子で野菜作りにチャレンジの実施	親子参加型イベントの実施	市内農業者の農地で親子を対象にした農業収穫体験を実施する。	A	市内農業者の農地にて、親子で収穫祭(さつま芋掘り)を実施した。
	㉒	農業普及啓発プロジェクトの活用	ファームカー、イメージビデオ、イメージソング等の活用 アスタビジョンを使用した農業PR映像	①イベント(マルシェ)において、パネルやちらしを利用し、都市農業をPRした ②ファームカーによる直売の支援、広報活動を行った を継続実施	A	①イベント(マルシェ)・市民まつりにおいて、パネルやちらしを利用し、都市農業をPRした。 ②ファームカーによる直売の支援、広報活動を行った。 ③JA東京みらいふれあい新鮮館での広報活動の実施。
	㉓	めぐみちゃんメニューの推進	めぐみちゃんメニュー事業の推進	引き続き事業PRに努め、事業者とのマッチングを推進していく。	A	①小中学生から募集した、メニューから期間限定で販売を実施。 ②マルシェを開催(農業者、商工業者のPRパネルの作成) ③X(旧ツイッター)を利用した情報発信。
	㉔	緑のアカデミー事業の実施	緑のアカデミーを通じた植木農業振興	①農業体験イベント等の農業体験事業の開催を検討する ②東京都農業祭にファームカーを使用し、市内の植木のPRを行う	A	①めぐみちゃんマルシェと同時開催で緑のアカデミーを実施。 ②東京都農業祭にファームカーを使用し、市内の植木のPRを行う。
	2 農商工・産学公連携の推進					
	㉕	農業と異分野との連携促進	飲食や福祉・健康・教育と農業の連携推進	めぐみちゃんメニュー事業等を通じ、異分野との連携を検討する。めぐみちゃんメニュー事業で農業者と事業者との配送を福祉法人に依頼し農福連携を図った。	A	①令和4年度に引き続き、期間限定のめぐみちゃんメニュー事業での福祉法人による野菜等の配送を実施した。。 ②めぐみちゃんマルシェでの販売
	㉖	東大生態調和農学機構との連携	東大生態調和農学機構との連携を図る	連携の内容等について情報収集を行う。	A	東大農場にある、植物工場の見学した。
	3 市民農園の新しい展開と農業体験農園の推進					
	㉗	市民農園の新しい展開	市民農園の開設支援や利用料の見直し等	農業者が開設する市民農園の周知や開設支援を行っていく。	A	農業者が開設する市民農園の周知や開設支援を行った。
	㉘	農業体験農園の推進	体験農園への支援実施	市報やHPで体験農園を広報引き続き周知を図りながら農業体験の場の提供について検討する。開設支援を行う。	A	市報やHPで体験農園を広報し、周知を図った。

市の評価

A:取組内容が計画に合致し、施行された
B:取り組みに改善の余地がある
C:取り組みが不十分
D:未実施